



修学旅行奈良編 降水確率90% きれいな心100%

11月29日(火)30日(水)の1泊2日間、6年生が奈良と京都へ修学旅行に行ってきました。出発日の29日(火)は降水確率が90%…。6月中旬に行われた山の学習に引き続き、またしても雨かと思われました。しかしながら傘をさすこともなくバスに乗車し、まずは奈良へと向かいました。伊勢湾岸道を走るバスの車窓から見えた東海市の巨大な製鉄工場。自然に囲まれた常磐小で過ごすときわっ子にとっては、見慣れた鮮やかな紅葉よりもむしろ、名港トリトンから見えた中部圏最大級の鉄鋼基地に大歓声が沸き、子供たちの意外な反応にこちらが驚きました。



東名阪自動車道で奈良へ向かう途中、雨上がりが功を奏し奈良盆地が雲海に覆われ幻想的な景色に。幾度となくこの道を通っているバスガイドさんも初めて見た景色だそうです。



奈良最初の目的地は、聖徳太子ゆかりの法隆寺。日本で最初に登録された世界文化遺産である法隆寺は、現存する世界最古の木造建築物群である金堂や五重塔を有し、子供たちは夢違観音像や百済観音像などの仏像に見入りながら

悠久の歴史を肌で感じる事ができました。

続いておとずれた東大寺。バスを降りて南大門へと向かう途中で出迎えてくれるたくさんの鹿たち。大はしゃぎする子供たちにあどけなさを感じました。やがて南大門につくと、子供たちの両



脇に身構える巨大な金剛力士像。運慶や快慶らによってつくられた“東大寺の仁王さん”に、子供たちも圧倒されました。さらに先へと進み、いよいよ大仏殿へ。世界最大級の木造建築内には、子供たちが待ちに待った奈良の大仏。子供たちは、約15mあり校舎よりも高くビルの5階ほどの高さの大仏を見上げた時に、自然と足が止まってしまいました。また、大仏の鼻の穴と

ほぼ同じ大きさの穴をくぐる柱くぐり。保護者の皆様もきっと挑戦したことでしょう。残念ながらコロナの影響がここにも及び、板でふさがれていました…。いつかチャレンジできる日が来ることを願っています。大仏見学後は班行動。鹿にせんべいをあげたりお土産を買ったりしながら、奈良での修学旅行を終えました。降水確率90%をはねのけ、傘を使う時間も極力少なく済み、子供たちのきれいな心で雨をくい止めた奈良での修学旅行でした。



京都の宿では、伝統工芸体験を行いました。絵付師のお話を聞きながら、みんな夢中になって取り組みました。最後に「ええ生徒さんですね。ものすごくやりやすかったです」と褒めてくださり、ときわっ子のきれいな心は、ここでも見られました。次回、京都編へ続く。